

令和4年度　第10回　文部科学大臣杯争奪

全日本学生バドミントン ミックスダブルス選手権大会

2022年 **8**月 **13**日(土)・**14**日(日)

名古屋市守山スポーツセンター

主催：(公財) 日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟　主管：中部学生バドミントン連盟、愛知県バドミントン協会
後援：スポーツ庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、(公財) 愛知県スポーツ協会、中日新聞社、(株) ベースボール・マガジン社
協賛：ヨネックス (株)、ミズノ (株)

目　　次

大会次第	2
ご挨拶	3
大会役員	11
競技役員	13
大会要項	14
競技・審判上の注意事項	16
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン	17
大会日程	18
タイムテーブル	19
組合せ	21
選手名簿	23
過去の戦績	24
主管学連紹介	25
会場案内図	26
体育館見取り図	27

大　会　次　第

Ⅰ．代表者会議　8月13日(土) 9：30～

1.挨拶	大会委員長	全日本学生バドミントン連盟委員長	密林　祐太
2.競技・審判上の注意	レフェリー	日本バドミントン協会公認レフェリー	西川　浩
3.棄権、訂正	大会副委員長	中部学生バドミントン連盟委員長	小林　修誠
4.諸注意		中部学生バドミントン連盟副委員長	坂井　颯真

(1) 試合会場について

(2) 感染症対策について

(3) その他

Ⅱ．開会式　8月13日(土) 10：00～

1.開式通告	司会	中部学生バドミントン連盟委員長	小林　修誠
2.開会宣言	大会委員長	全日本学生バドミントン連盟委員長	密林　祐太
3.開会の挨拶	大会名誉会長	日本バドミントン協会会長	関根　義雄
4.開会の挨拶	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	宮崎　重勝
5.歓迎の挨拶	大会副会長	愛知県バドミントン協会会長	末岡　熙章
6.競技・審判上の注意	レフェリー	日本バドミントン協会公認レフェリー	西川　浩
7.閉式通告	司会	中部学生バドミントン連盟委員長	小林　修誠

Ⅲ．閉会式　8月14日(日) 決勝戦終了後

1.開式通告	司会	中部学生バドミントン連盟委員長	小林　修誠
2.成績発表	レフェリー	日本バドミントン協会公認レフェリー	西川　浩
3.表彰	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	宮崎　重勝
4.閉会の挨拶	大会会長	全日本学生バドミントン連盟会長	宮崎　重勝
5.閉会宣言	大会副委員長	全日本学生バドミントン連盟副委員長	太田　克法
6.閉式通告	司会	中部学生バドミントン連盟委員長	小林　修誠

ご挨拶



（公財）日本バドミントン協会

会長 **関 根 義 雄**

文部科学大臣杯争奪第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会を愛知県名古屋市に於いて開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

本大会は昨年度まで関東地区にて開催されてきましたが、今年度より関東、中部、関西の持ち回り開催となり、その初年がこの名古屋での開催になります。これを機会に全国の学生諸君の情熱が一層漲ることを期待するところであります。

昨年は新型コロナの影響を受けながら2020東京オリンピックが無観客という厳しい環境の中で開催されました。当初の目標には及ばないものの、ミックスダブルスで銅メダルを獲得することができました。国民のこの種目への関心は大いに高まり、次回パリ大会でも好成績を残すべく、一層の強化を図っていかなければならないと考えております。そういう意味では本大会の存在は大変重要であり、大会に参加された選手諸君はこの上位になる全日本総合選手権大会での活躍、更には日本代表への道筋をつけて大いに躍動していただきたいと思います。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました関係各位にお礼を申し上げ、挨拶といたします。

ご挨拶



全日本学生バドミントン連盟

会長 宮崎重勝

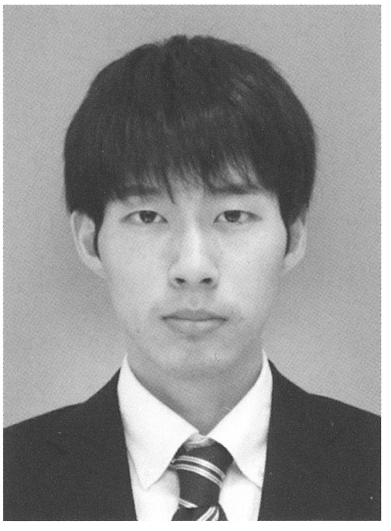
第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が、来たる８月13日(土)、８月14日(日)の２日間、全国各地の学生諸君を集め、愛知県名古屋市の守山スポーツセンターで開催の運びとなりました。

８回大会は中止、９回大会は小田原アリーナで開催予定でしたが、コロナの影響で11月に延期となり、東北学連の協力を得て郡山で開催されました。オールジャパンにつながる大会なので中止にしたくないとの思いもあり、東北学連の皆様のご協力に本当に感謝申し上げます。

相変わらずコロナ感染の影響で、他の競技は中止が相次いでいますが、バドミントンはなんとか学生の想いをと関係者が一生懸命協力、努力してくれすすめています。ユニバも中止・延期となりましたが、ユニバの団体での勝ち負けはミックス結果次第といっても過言ではないほど重要です。日本ではまだまだミックスのレベルは低いですが、ミックスのレベルをあげることが、海外での大会の勝利に結びつくものと思っています。

大会中は学生らしいマナーを守り、フェアプレイで練習の成果を発揮するよう頑張ってください。

最後になりましたが、大会開催にあたりなかなか集まっての準備もままならない中、大会開催にご協力いただいた中部学連をはじめとする関係各位にお礼申し上げ、大会の成功を祈り挨拶といたします。



全日本学生バドミントン連盟

委員長　密林祐太

第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が無事に開催されますことを大変嬉しく思います。

昨年のミックスダブルス選手権大会は様々な困難を乗り越え２年ぶりに開催されました。しかし、大会を開催することが困難な状況であることは今年も変わりません。本大会は中部学生バドミントン連盟の皆様がご尽力していただいたおかげで開催することができましたが、大会を成功させるためには選手の皆様のご協力が不可欠です。昨年に引き続き感染症対策の徹底をよろしくお願いいたします。

さて、本大会は全日本総合選手権大会への切符をかけた重要な大会です。選手の皆様には悔いのないよう全力でプレーしていただきたいと思います。病気や怪我に十分注意しながら、日ごろの努力の成果を十二分に発揮するとともに熱い試合を繰り広げてくれることを楽しみにしています。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたりご支援ご協力賜りました関係者の皆様方にお礼を申し上げるとともに新型コロナウイルスの終息を願って、私の挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



愛知県知事

大 村 秀 章

文部科学大臣杯争奪第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会の開催にあたり、全国から参加される選手の皆様を心より歓迎いたします。

また、本大会の開催にあたり御尽力いただきました公益財団法人日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟を始め関係者の皆様方に深く敬意を表します。

東京2020オリンピックでは、バドミントン混合ダブルスで東野・渡辺ペアが見事銅メダルを獲得するなど、日本のスポーツ界が大いに盛り上がりました。

本大会は、学生ナンバー１を決める大会であり、また、上位の成績を収めると、日本のバドミントンの頂点を決める全日本総合バドミントン選手権大会の混合複本戦に推薦されます。この様な素晴らしい大会が、ここ愛知で開催されることを大変喜ばしく思います。

参加される選手の皆様には、これまでの練習の成果を余すところなく発揮され、白熱した素晴らしい試合を繰り広げられますとともに、大会を通じて、参加される多くの方々との交流を深められますことを期待申し上げます。

最後に、本大会の御成功と、御出場の皆様の御健闘と今後のますますの御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



名古屋市長

河村たかし

第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会の開催を心からお祝いいたします。

バドミントンは、日本人選手が東京2020オリンピック競技大会における混合ダブルスで銅メダルを獲得するなど、その活躍が目覚ましい競技であるとともに、公園などでも気軽に楽しまれるレクリエーション的な要素ももつなど、多くの方に親しみを持たれるスポーツであると思います。今後も、皆様のご活躍によりバドミントンの普及・振興がより一層図られ、ひいては日本全体のスポーツ振興にも大きく寄与いただきますようお願いいたします。

本大会に参加されるにあたり、近年はコロナ禍ということもあり、満足に練習することが難しい状況であったと思いますが、選手の皆様には、日々の努力の積み重ねにより培った力と技を存分に発揮されることを期待しています。

また、2026年には、愛知・名古屋においてアジア最大のスポーツの祭典である第20回アジア競技大会及び第５回アジアパラ競技大会が開催される予定であり、本市では、これら両大会の開催に向け準備を進めています。本大会に出場される選手の皆様がさらに研鑽いただき、日本代表選手として出場し、活躍されることを楽しみにしています。

本大会のご成功と公益財団法人日本バドミントン協会及び全日本学生バドミントン連盟のますますのご発展並びに関係の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

ご挨拶



愛知県バドミントン協会

会長 末岡熙章

文部科学大臣杯争奪第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会を本県名古屋市にて盛大に開催できますことは、この上ない喜びであり、全国からご参加いただきました選手の皆様を心より歓迎申しあげます。

本大会も新型コロナの影響を受け、一昨年は中止、昨年は開催日程の変更と多難な状況が続いております。本年も大会運営には細心の注意を払い、選手の皆様に力一杯のプレーを展開していただけるよう運営してまいりますので何卒ご協力のほど、宜しくお願い致します。

さて、昨今の日本人選手の国際的な活躍は多くのファンを魅了し、更に一層の期待がかけられております。本大会に参加される皆さんは次の日本代表候補であり、今大会がその飛躍の場にならんことを願って止みません。どうか、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、それぞれが掲げる大きな目標に向かって素晴らしい試合を繰り広げていただきたいと思います。

また、全国から集った選手相互の交流も深まりますよう併せて期待しております。

結びに、今大会を開催するにあたり、多大なるご協力を賜りました名古屋市をはじめ、関係の皆様に心より感謝を申し上げ歓迎のことばと致します。



中部学生バドミントン連盟

会長 佐藤荘二

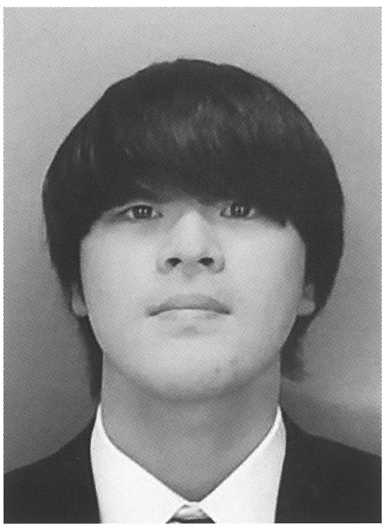
第10回文部科学大臣杯争奪全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が愛知県名古屋市守山スポーツセンターで開催できますことを誠に喜ばしく思います。

一昨年来の新型コロナウイルス感染症にも対応が十分になされつつある現在、各種大会がスポーツ庁及び日本バドミントン協会が提示する感染症ガイドラインに沿って開催されております。本大会も医師及び大会レフェリーとの連携のもとガイドラインに沿って、大会参加者及び役員共々安全を第一に考え大会を展開していきます。参加される選手の皆様には新しい生活・行動スタイルをお願いすることとなります。また、応援する側も声援から手拍子による応援に変化しつつあります。参加される皆様にはご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

本大会は日本バドミントン協会第１種大会であり、成績上位者は12月に開催される全日本総合選手権大会への出場権が得られます。さらには日本代表入りを目指し、フェアプレー精神のもと大いに実力を発揮していただきたいと思います。

最後に本大会を主催する日本バドミントン協会をはじめ、ご後援・協賛をいただきました皆様、審判等のご協力をいただいた愛知県バドミントン協会に対しまして深く感謝を申し上げご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



中部学生バドミントン連盟

委員長 **小林修誠**

文部科学大臣杯争奪第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会を、全国各地より選抜された選手をお迎えして、この愛知の地で開催できることを心より嬉しく思います。

本大会は、昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大の予断を許さない状況の中にあって、福島県バドミントン協会をはじめ東北学連、関東学連のご尽力により、無事開催することができました。本年度より、関東、関西、中部学連の持ち回り開催が決定したことから、第１回大会より主管を務めた関東学連から引き継いで、記念すべき第10回大会を中部学連が主管として開催することになりました。第10回大会の開催を任されたことはとても名誉であると同時に、その重責を感じております。関東学連が培ってきたノウハウを引き継ぎ、選手ファーストの大会にしていきたいと思います。

参加される選手の皆様は、日頃の成果を発揮されることを運営スタッフ一同､期待しております｡本大会の運営に当たっては、引き続きガイドラインに基づいた基本的な感染防止対策を遵守し遂行していきます。参加される皆様は、大会開催期間での感染防止対策にご配慮いただき、円滑な運営にご協力いただきたくお願い申し上げます。

主管団体である中部学生バドミントン連盟といたしましては、参加される選手のより良い環境でプレーできるように役員一同、努めて参ります。

最後になりましたが、本大会開始にあたり、ご協力とご支援いただきました関係各位に厚く御礼申し上げまして挨拶とさせていただきます。

大会役員　役員

大会名誉会長	（公財）日本バドミントン協会	会長	関根　義雄
大会会長	全日本学生バドミントン連盟	会長	宮崎　重勝
大会副会長	（公財）日本バドミントン協会	副会長	福田　達夫
	（公財）日本バドミントン協会	副会長	山田順一郎
	（公財）日本バドミントン協会	専務理事	銭谷　欽治
	北海道学生バドミントン連盟	会長	土江田真一
	東北学生バドミントン連盟	会長	北見　正伸
	関東学生バドミントン連盟	会長	平野　泰宏
	中部学生バドミントン連盟	会長	佐藤　荘二
	関西学生バドミントン連盟	会長	宮崎　克己
	中・四国学生バドミントン連盟	会長	青木　義和
	九州学生バドミントン連盟	会長	伊藤　龍峰
	愛知県バドミントン協会	会長	末岡　熙章
	（公財）日本バドミントン協会	派遣理事	岩﨑　眞美
大会名誉顧問	愛知県知事		大村　秀章
	名古屋市長		河村たかし

大会顧問	森　喜朗	関谷　勝嗣	森田　一	平田登志郎
	青木　昭二	毛利　清志	内多小五郎	吹田　修一
	牧野　武	村山　幸雄	濵中　誠	岡本　武利
	三宅　祐司	野村　嘉明	里見　光徳	佐藤　芳朗
	竹林　克彦	油井　秀男	淺岡　武	木村　寛
	岡村　英男	川島　一郎	板垣　隆房	上原　信彦
	加藤　博司	藤本　滋	加藤　寛治	原　紀征
	鈴木　勝之	中山　紀子	藤原　航	真壁　幹雄
	籾井　勝人	野村　安忠	西村　健二	工藤　勇参
	千葉　健夫	築地　孝彦	三井　裕	髙橋　英夫

大会参与	能登　則男	阿部　秀夫	村元　英美	坂上　昭
	濵中　勉	河野　幸男	上松　芳則	小野　理
	芝　スミ子			

大会役員　委員

大会委員長	全日本学生バドミントン連盟	委員長	密林　祐太
大会副委員長	中部学生バドミントン連盟	委員長	小林　修誠
	全日本学生バドミントン連盟	副委員長	太田　克法
	全日本学生バドミントン連盟	副委員長	諸石　一穂
	愛知県バドミントン協会	理事長	朝倉　康善

大会委員	岩﨑　眞美	岡野　佳浩	小国　久美	河崎　正紀
	歸山　好和	小柳　尚久	佐竹　養一	田部井秀郎
	丹藤　勇一	遠井　　努	中村　新一	原田　利雄
	源　　憲治	毛利　達彦	山蔭　　栄	藤巻　裕昌
	十枝内厚次	井上　　翼	金田　隆一	大東　忠司
	古材　和輝	渡辺　英次	中林　寛貴	千葉　陽子
	北村　優明	千住　浩造	小松　青空	吉村　篤郎
	岡田　岳大	井島　悠貴		

競　技　役　員

レフェリー（競技役員長）	（公財）日本バドミントン協会	公認レフェリー	西川　浩
総務部長	中部学生バドミントン連盟	会長	佐藤荘二
総務副部長	中部学生バドミントン連盟	常任役員	十枝内厚次
総務委員長	中部学生バドミントン連盟	委員長	小林　修誠
総務副委員長	全日本学生バドミントン連盟	委員長	密林　祐太
	中部学生バドミントン連盟	副委員長	坂井　颯真
	中部学生バドミントン連盟	常任委員	中込　智也
	中部学生バドミントン連盟	総務部長	長谷川　誠
	中部学生バドミントン連盟	会計部長	田口　瑠璃
総務委員	太田　克法	諸石　一穂	小松　青空	吉村　篤郎
	岡田　岳大	井島　悠貴		
デピュティーレフェリー（競技審判部長）	（公財）日本バドミントン協会	公認レフェリー	安達　俊夫
競技審判副部長	中部学生バドミントン連盟	常任役員	藤巻　裕昌
競技審判委員長	中部学生バドミントン連盟	審判副部長	吉田　知宏
競技委員	山本　龍河	渡瀬　美月	稲垣　圭亮	柴田　摩耶
	鬼塚新之介	林　秀斗	塩田　佳祐	奥村　大雅
	片山　温	安井　渉陽		
審判員	愛知県バドミントン協会審判委員会			
	中部学生バドミントン連盟　加盟大学バドミントン部部員			
医務役員	川島　至			

大　会　要　項　①

令和４年度　文部科学大臣杯争奪
第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会 要項

1．主　　催　公益財団法人 日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟
2．主　　管　中部学生バドミントン連盟、愛知県バドミントン協会
3．後　　援　スポーツ庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
公益財団法人 愛知県スポーツ協会、中日新聞社、(株)ベースボール・マガジン社
4．協　　賛　ヨネックス(株)、ミズノ(株)
5．期　　日　令和４年８月13日(土)・８月14日(日)
6．会　　場　名古屋市守山スポーツセンター
〒463-0801　名古屋市守山区竜泉寺２丁目112番地　　TEL：052-792-7066
7．日　　程　令和４年８月13日(土)　９：00　審判会議
９：30　代表者会議
10：00　開会式
10：30　試合開始(１～４回戦)
14日(日)　９：30　審判会議
10：00　試合開始(５回戦・準決勝・決勝)
競技終了後、表彰式、閉会式
8．種　　目　混合複
9．競技規則　令和４年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による
10．競技方法　トーナメント方式とし３位決定戦は行わない。
11．使用用器具　(公財)日本バドミントン協会検定･審査合格用器具及び令和４年度第１種検定合格水鳥球を使用する
12．参加資格　令和４年度(公財)日本バドミントン協会及び全日本学生連盟に登録しており、下記に該当する者
(1)令和３年度第72回全日本学生バドミントン選手権大会男女ダブルスでベスト32以上の選手で令和４年度学生連盟登録者
(2)令和３年度第72回全日本学生バドミントン選手権大会男女シングルスでベスト32以上の選手で令和４年度学生連盟登録者
(3)全日本学生バドミントン連盟に推薦された選手(若干名)
(4)各地区学生連盟に推薦された選手。推薦による枠数は以下の通り
北海道４組　東北４組　関東８組　中部４組　関西６組　中四国４組　九州４組
(5)前年度(令和３年度)開催本大会のベスト８入賞選手
(6)(公財)日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること(大会申込時に有効な資格を持っていること)ただし、大会申込時に有効な資格を持っていなくても、この大会以前に(公財)日本バドミントン協会公認審判員資格取得検定会を受講し合格したものはこの限りではない。
※上記(1)(2)(3)(5)の選手を「有資格者」とする。
※上記(4)による推薦者が、(1)(2)(3)の選手とペアを組んだ場合は、その人数を繰り上げし、各地区推薦枠数は(4)のままとする。
※上記(4)による推薦者が、上記(1)(2)(3)(5)の「有資格者」とペアを組んだ場合も「有資格者」に含めるが、地区推薦者にシードのポイントはつかない。
13．組　合　せ　(公財)日本バドミントン協会指名のレフェリー(競技役員長)もしくは、デピュティーレフェリー(競技審判部長)指示の下、主管団体及び全日本学生バドミントン連盟との間で厳正に執り行う。
14．参　加　費　(1)１組　6,000円
(2)各地区学生連盟で一括して中部学生連盟の下記口座に納入
振込先　三菱UFJ銀行　星ヶ丘支店(２７６)
口座番号　０００９０１５８
口座名義　中部学生バドミントン連盟
会計責任者　田口　瑠璃　　携帯　080-3642-1535
納入開始日及び締切日　**令和４年６月24日(金)～７月１日(金)**

大　会　要　項　②

15. 申込書送付方法　(1)全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書に必要事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて下記宛て送付すること。

メールアドレス chubugakuren.bad@gmail.com

※件名、ファイル名は「ミックス大会申込　＊＊大学」として下さい。

(2)メールで申込み後、「入力したファイル」を３部印刷し、各々を正・副・控として『都道府県協会会長印を捺印』の上、**登録地区学連事務局へ送付**すること(必着)。提出ない場合は棄権扱いとし大会に出場できない。

各地区学連は送付された申込書の「正」を(主催)全日本学生バドミントン連盟事務局、「副」を(主管)中部学生バドミントン連盟事務局(下記)宛て送付すること。

全日本学生バドミントン連盟事務局

〒227-0033　神奈川県横浜市青葉区鴨志田町560-5　サンヒルズ金子303

中部学生バドミントン連盟事務局

〒487-0024　愛知県春日井市大留町5-18-3

(3)なお「控」は各地区学連で保管のこと。(大会当日持参して下さい。)

16. 申込締切り　(1)入力した「申し込みファイル」　６月30日(木)必着

(2)印刷した「正・副」　７月８日(金)必着

17. 表　　彰　(1)優勝・準優勝及び３位には(公財)日本バドミントン協会より金メダル、銀メダル、銅メダルを授与する。

(2)優勝から第３位までの選手に表彰状を授与する。

18. **大会事務局**　**〒487-0024　愛知県春日井市大留町5-18-3　中部学連委員長宅**

中部学生バドミントン連盟　委員長　小林　修誠

携帯電話　090-6803-1025　　Email　sp190625@n-fukushi.ac.jp

19. 宿　　泊　宿泊の斡旋はしない。

20. 着　　衣　色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面には大学名を必ず明示すること(全日本学生バドミントン連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』を参照のこと)。

また、ゼッケンを使用する場合には、横30cm 縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。

21. 備　　考　(1)競技者(部長、監督、コーチ、主将、主務、選手)は必ず(公財)日本バドミントン協会登録会員であること。

(2)競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は必ず室内シューズを着用すること。

(3)各大学は、代表者会議に１名、開会式には選手全員が必ず出席すること。

(4)事故の場合応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。

(5)病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。最低保障のスポーツ傷害保険には加入している。

(6)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

(7)大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

(8)(公財)日本バドミントン協会環境委員会からのお願い

①開催地のゴミの分別収集にご協力下さい。(ゴミは各大学で責任をもって持ち帰って下さい。)

②宿泊先の部屋から出る時には必ず、エアコン、テレビ、ライトのスイッチを消して下さい。

③マイ歯ブラシを持参して大会に参加して下さい。

(9)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、公益財団法人日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」を基に、大会を開催いたします。

※１．ベスト４までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複本戦に推薦する。

※２．ベスト８までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複予選に推薦する。

競技・審判上の注意事項

大会運営に関わる全体的注意事項

●コロナ対策として体育館外での体調不良者は各チームで対応する。感染者・濃厚接触者は滞在先で隔離を行ってください。症状によってはサポートセンターに連絡します。
●発熱等（37.5℃以上）の症状がある場合、大会に参加（施設に入場）することはできません。また、体育館内での体調不良者は本部の指示で対応し、宿泊施設に帰って頂きます。
●期間中は、全ての参加者（選手・監督・コーチ・マネージャー・審判・運営スタッフ）が毎日、「健康状態申告書」を受付で提出し、検温を受けてください。
●IDについては申請者のみ14日間の経過観察・行動記録表を提出の上IDカードと引き換えてください。
●IDカードの有効期間は試合に負けるまでとします。試合終了後は素早く退館してください（敗者審判がある場合は審判業務終了後とします）。
●今大会では、換気のため、一部の窓や扉を開放いたします。これによる風および光の影響については、換気を優先とします。
●会場での食事は体育館のルールに則り行います。食事を許可された場合でも、黙食を徹底してください。健康保全のための水分補給については、容器は蓋付きで、倒れてもこぼれないものを使用してください。
●観客席では密を避ける観点から、席の間隔を１～２席以上開け、隣同士での観戦は禁止します。
●観客席からのアドバイス、声援は禁止、応援は拍手のみとします。
●コートに入り、主審の「練習開始」の指示まではマスクを外さないでください。

競技上・審判上の注意事項

●ラケット、タオル、着替え用衣服、水分補給用用品等は直接床に置かず、トーナメントバッグ･キャリーバッグ等の中に入れ、直接床に置くことは禁止します。
●練習等を含め１コートに入って練習できるのは４人までとし、密を避けてください。
●コロナ対策のため練習用シャトルは各自持ち寄りで行ってください。
●練習コートでは練習終了後各自で清掃・除菌・消毒を行い、退出してください。
●練習コートは役員が見回り、コロナ対策が守られているか観察・指導します。
●トスを行うために選手を集めるときは２メートルの間隔をあけ、密にならないように注意してください（特にダブルス時）。また、マスクは付けた状態で行い練習するときに外してください。
●マッチ中は次のような行動はしないこと（以下が見られた場合、主審は注意をしてください）。
① 意識的な試合中の声出し　② 汗を振り払う行為　③ 靴底を手で拭く行為

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

令和４年度　全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」要点

令和４年８月
全日本学生バドミントン連盟

○『令和３（2021）年度日本バドミントン協会『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（大会イベント実施版）」（令和３年２月10日更新）』をよく読み、加盟大学関係者全員がそれを理解すること。

○感染者、および体調不良者が絶対に大会会場に行かないこと。以下の場合は大会参加を自粛すること。

・自らが体調不良の場合
・感染症の濃厚接触者と認定され保健所から自粛を要請されている場合
・身近に発熱者がいて自らも感染症のリスクが否定できない場合

○仮に感染者（不顕性感染者）が体育館に入館していた場合でも、感染拡大を防ぐために次のことを徹底すること。

▶ 不織布マスクを着用すること（不織布マスクが着用されていない場合入館できない）。
▶ プレー中以外は常にマスクを着用すること。
▶ プレー中の水分補給を除くあらゆる飲食の場面で会話をしないこと。
▶ プレー中に許可されているアドバイス以外、マスクなしでの会話をしないこと（会話の一方だけでもマスクなしの場合、会話をしないこと）。
▶ 場面を問わず、入退館時を含む会場内ではソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）を保つこと。
▶ こまめにアルコール消毒を行うこと。
▶ 使用した座席等の定期的なアルコール消毒を行うこと。
▶ コートサイドの床にラケット、タオル、飲み物などを置かないこと（トーナメントバッグやかごを必ず使用すること）。
▶ 応援は、声援を不可とし、拍手に限定し、指定した席で行うこと。
▶ 感染症拡大防止の観点から各自ゴミを持ち帰り自宅で処分すること。
▶ 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
▶ 会場までの往復の際も感染症対策に配慮した行動を徹底すること。

本大会において、大会期間中に感染者が確認された場合は、大会が中止、または延期される場合もあることをあらかじめご了承ください。また、今後も当学連主催大会の開催を続けていくためには、全加盟大学の関係者が上記を遵守し行動していただく必要があります。適切な行動がとられなかった個人あるいはチームについては、当日の退館を命じることや以後の大会出場辞退をお願いすることもありますことをご承知置きの上、ご参加ください。

大　会　日　程

8月13日(土)	名古屋市守山スポーツセンター		
	審判会議	9時00分より	メインアリーナ
	代表者会議	9時30分より	メインアリーナ
	開会式	10時00分より	メインアリーナ
	1～4回戦	10時30分より	メインアリーナ サブアリーナ

8月14日(日)	名古屋市守山スポーツセンター		
	審判会議	9時30分より	メインアリーナ
	5回戦・ 準決勝・決勝	10時00分より	メインアリーナ
	表彰式・閉会式	(競技終了後)	メインアリーナ

タイムテーブル①

13日(土) タイムテーブル
入館時間　　9：00

試合開始時間	試合番号
10：30	1～11
	12～22
	23～33
	34～44
	45～55
換気　15分	
14：30	56～66
	67～77
	78～87
換気　15分	
17：00	88～95
	96～103
換気　15分	
18：45	104～111

メインアリーナ

1	2	3	4	5	6	7	8	9
XD 1	2	3	4	5	6	7	8	9
XD 1回戦（試合番号12～55） コートが空き次第コールします。								
XD 2回戦（試合番号56～87） コート空き次第コールします。								
XD 3回戦（試合番号88～103） 試合終了時間によって変動あり								
XD 4回戦（試合番号104～111）								

サブアリーナ

10	11
10	11
XD 1回戦 (試合番号12～55) コートが空き次第 コールします。	
XD 2回戦 (試合番号56～87) コート空き次第 コールします。	

タイムテーブル②

14日(日) タイムテーブル
入館時間　　9：00

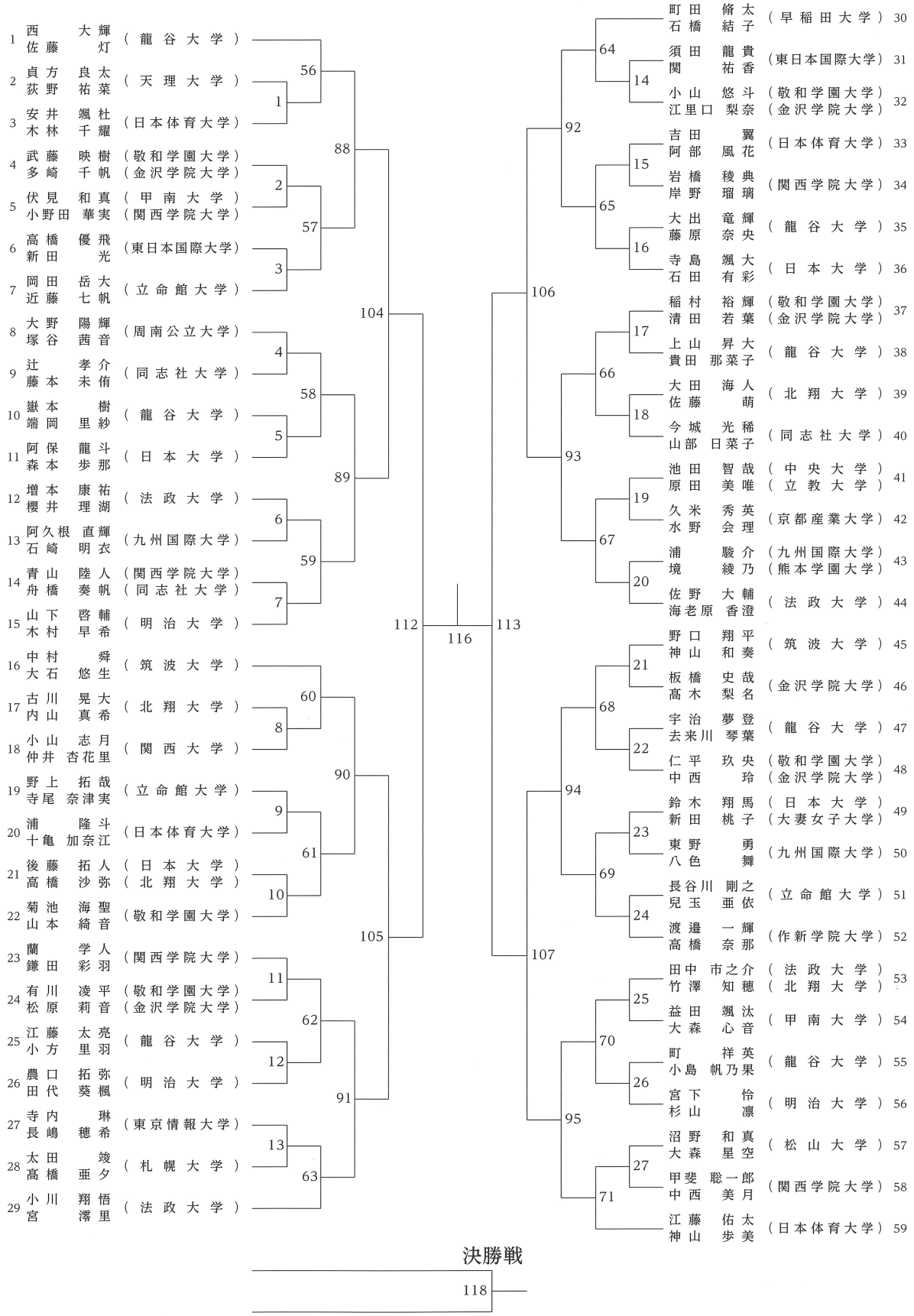
試合開始時間	試合番号
10：00	112～115
換気　15分	
11：30	116～117
換気　15分	
13：00	118

メインアリーナ

1	2	3	4	5	6	7	8	9
112		113			114		115	
	116					117		
	118							

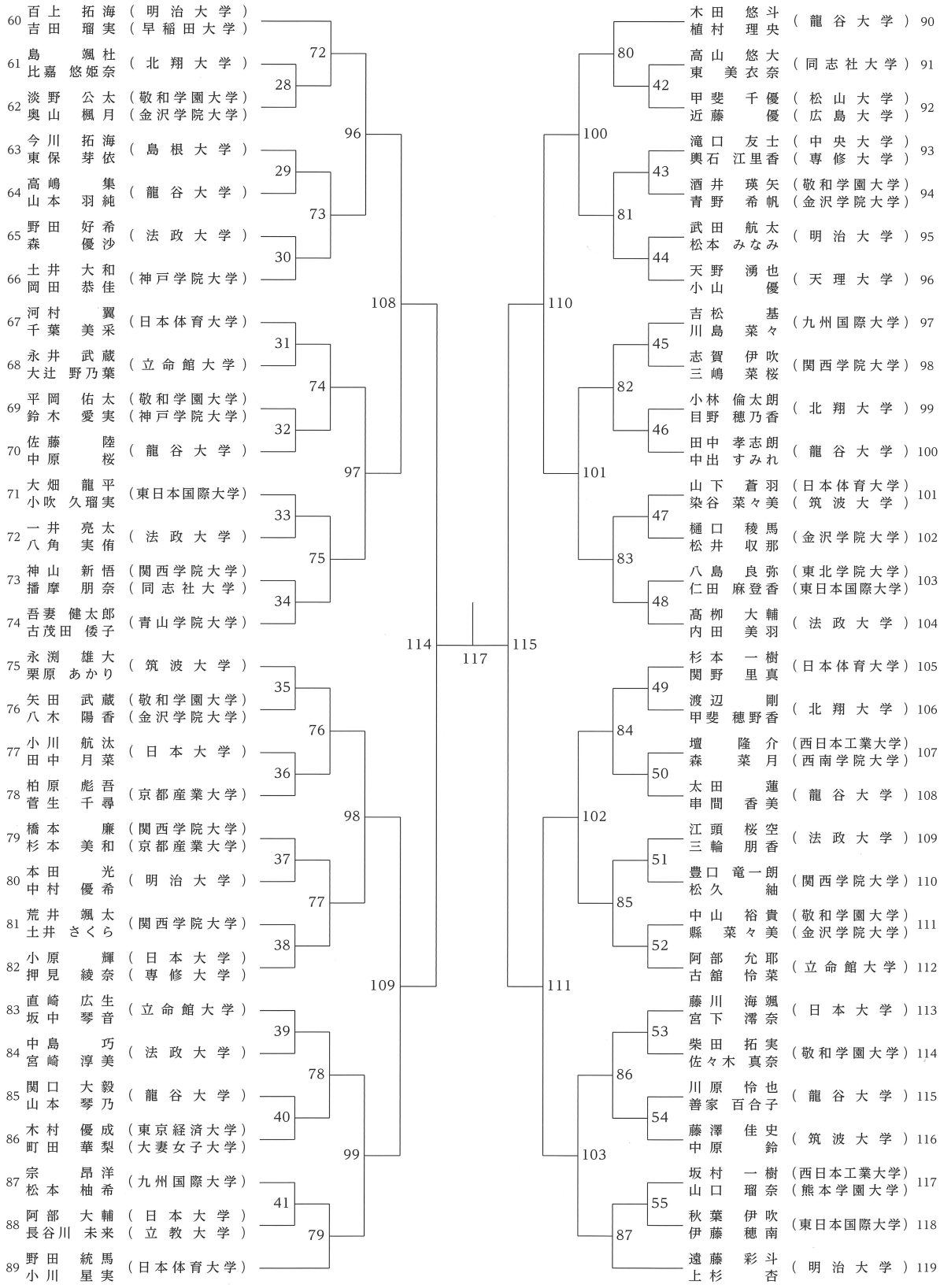
組　合　せ　①

混合ダブルス－１



組　合　せ　②

混合ダブルス－２



選　手　名　簿

有資格者（令和４年全日本学生選手権大会ベスト32）

1	八島　良弥	東北学院大学
	仁田麻登香	東日本国際大学
2	小川　翔悟	法政大学
	宮　澪里	法政大学
3	髙栁　大輔	法政大学
	内田　美羽	法政大学
4	佐野　大輔	法政大学
	海老原香澄	法政大学
5	江頭　桜空	法政大学
	三輪　朋香	法政大学
6	増本　康祐	法政大学
	櫻井　理湖	法政大学
7	一井　亮太	法政大学
	八角　実侑	法政大学
8	中島　　巧	法政大学
	宮﨑　淳美	法政大学
9	田中市之介	法政大学
	竹澤　知穂	北翔大学
10	古川　晃大	北翔大学
	内山　真希	北翔大学
11	大田　海人	北翔大学
	佐藤　　萌	北翔大学
12	後藤　拓人	日本大学
	高橋　沙弥	北翔大学
13	遠藤　彩斗	明治大学
	上杉　　杏	明治大学
14	山下　啓輔	明治大学
	木村　早希	明治大学
15	農口　拓弥	明治大学
	田代　葵楓	明治大学
16	本田　　光	明治大学
	中村　優希	明治大学
17	武田　航太	明治大学
	松本みなみ	明治大学
18	百上　拓海	明治大学
	吉田　瑠実	早稲田大学
19	町田　脩太	早稲田大学
	石橋　結子	早稲田大学
20	江藤　佑太	日本体育大学
	神山　歩美	日本体育大学

21	野田　統馬	日本体育大学
	小川　星実	日本体育大学
22	杉本　一樹	日本体育大学
	関野　里真	日本体育大学
23	河村　　翼	日本体育大学
	千葉　美采	日本体育大学
24	浦　　隆斗	日本体育大学
	十亀加奈江	日本体育大学
25	山下　蒼羽	日本体育大学
	染谷菜々美	筑波大学
26	中村　　舜	筑波大学
	大石　悠生	筑波大学
27	永渕　雄大	筑波大学
	栗原あかり	筑波大学
28	藤澤　佳史	筑波大学
	中原　　鈴	筑波大学
29	寺島　颯大	日本大学
	石田　有彩	日本大学
30	藤川　海颯	日本大学
	宮下　澪奈	日本大学
31	小川　航汰	日本大学
	田中　月菜	日本大学
32	滝口　友土	中央大学
	奥石江里香	専修大学
33	池田　智哉	中央大学
	原田　美唯	立教大学
34	吾妻健太郎	青山学院大学
	古茂田倭子	青山学院大学
35	菊池　海聖	敬和学園大学
	山本　綺音	敬和学園大学
36	柴田　拓実	敬和学園大学
	佐々木真奈	敬和学園大学
37	武藤　映樹	敬和学園大学
	多崎　千帆	金沢学院大学
38	酒井　瑛矢	敬和学園大学
	青野　希帆	金沢学院大学
39	仁平　玖央	敬和学園大学
	中西　　玲	金沢学院大学
40	中山　裕貴	敬和学園大学
	縣　菜々美	金沢学院大学

41	稲村　裕輝	敬和学園大学
	清田　若葉	金沢学院大学
42	樋口　稜馬	金沢学院大学
	松井　収那	金沢学院大学
43	板橋　史哉	金沢学院大学
	髙木　梨名	金沢学院大学
44	蘭　　学人	関西学院大学
	鎌田　彩羽	関西学院大学
45	豊口竜一朗	関西学院大学
	松久　　紬	関西学院大学
46	志賀　伊吹	関西学院大学
	三嶋　菜桜	関西学院大学
47	岩橋　稜典	関西学院大学
	岸野　瑠璃	関西学院大学
48	伏見　和真	甲南大学
	小野田華実	関西学院大学
49	青山　陸人	関西学院大学
	舟橋　奏帆	同志社大学
50	今城　光稀	同志社大学
	山部日菜子	同志社大学
51	辻　　孝介	同志社大学
	藤本　未侑	同志社大学
52	神山　新悟	関西学院大学
	播摩　朋奈	同志社大学
53	平岡　佑太	敬和学園大学
	鈴木　愛実	神戸学院大学
54	土井　大和	神戸学院大学
	岡田　恭佳	神戸学院大学
55	直崎　広生	立命館大学
	坂中　琴音	立命館大学
56	岡田　岳大	立命館大学
	近藤　七帆	立命館大学
57	野上　拓哉	立命館大学
	寺尾奈津実	立命館大学
58	橋本　　廉	京都産業大学
	杉本　美和	京都産業大学
59	柏原　彪吾	京都産業大学
	菅生　千尋	京都産業大学
60	久米　秀英	京都産業大学
	水野　会理	京都産業大学

61	小山　志月	関西大学
	仲井杏花里	関西大学
62	益田　颯汰	甲南大学
	大森　心音	甲南大学
63	壇　　隆介	西日本工業大学
	森　　菜月	西南学院大学
64	西　　大輝	龍谷大学
	佐藤　　灯	龍谷大学
65	木田　悠斗	龍谷大学
	植村　理央	龍谷大学
66	佐藤　　陸	龍谷大学
	中原　　桜	龍谷大学
67	江藤　太亮	龍谷大学
	小方　里羽	龍谷大学
68	関口　大毅	龍谷大学
	山本　琴乃	龍谷大学
69	町　　祥英	龍谷大学
	小島帆乃果	龍谷大学
70	大出　竜輝	龍谷大学
	藤原　奈央	龍谷大学
71	上山　昇大	龍谷大学
	貴田那菜子	龍谷大学
72	太田　　蓮	龍谷大学
	串間　香美	龍谷大学
73	嶽本　　樹	龍谷大学
	端岡　里紗	龍谷大学
74	宇治　夢登	龍谷大学
	去来川琴葉	龍谷大学
75	高嶋　　集	龍谷大学
	山本　羽純	龍谷大学
76	川原　怜也	龍谷大学
	善家百合子	龍谷大学
77	吉松　　基	九州国際大学
	川島　菜々	九州国際大学
78	浦　　駿介	九州国際大学
	境　　綾乃	熊本学園大学

全日本学連及び各地区学連推薦者選手

1	野口　翔平	筑波大学	全日本
	神山　和奏	筑波大学	
2	宮下　　怜	明治大学	
	杉山　　凛	明治大学	
3	吉田　　翼	日本体育大学	
	阿部　風花	日本体育大学	
4	小原　　輝	日本大学	
	押見　綾奈	専修大学	
5	阿部　允耶	立命館大学	
	古舘　怜菜	立命館大学	
6	荒井　颯太	関西学院大学	
	土井さくら	関西学院大学	
7	田中孝志朗	龍谷大学	
	中出すみれ	龍谷大学	
1	小林倫太朗	北翔大学	北海道（4）
	目野穂乃香	北翔大学	
2	渡辺　　剛	北翔大学	
	甲斐穂野香	北翔大学	
3	太田　　竣	札幌大学	
	髙橋　亜夕	札幌大学	
4	島　　颯杜	北翔大学	
	比嘉悠姫奈	北翔大学	

1	大畑　龍平	東日本国際大学	東北（4）
	小吹久瑠実	東日本国際大学	
2	高橋　優飛	東日本国際大学	
	新田　　光	東日本国際大学	
3	須田　龍貴	東日本国際大学	
	関　　祐香	東日本国際大学	
4	秋葉　伊吹	東日本国際大学	
	伊藤　穂南	東日本国際大学	
1	安井　颯杜	日本体育大学	関東（8）
	木林　千耀	日本体育大学	
2	野田　好希	法政大学	
	森　　優沙	法政大学	
3	阿保　龍斗	日本大学	
	森本　歩那	日本大学	
4	鈴木　翔馬	日本大学	
	新田　桃子	大妻女子大学	
5	阿部　大輔	日本大学	
	長谷川未来	立教大学	
6	寺内　　琳	東京情報大学	
	長嶋　穂希	東京情報大学	
7	木村　優成	東京経済大学	
	町田　華梨	大妻女子大学	
8	渡邉　一輝	作新学院大学	
	高橋　奈那	作新学院大学	

1	有川　凌平	敬和学園大学	中部（4）
	松原　莉音	金沢学院大学	
2	矢田　武蔵	敬和学園大学	
	八木　陽香	金沢学院大学	
3	小山　悠斗	敬和学園大学	
	江里口梨奈	金沢学院大学	
4	淡野　公太	敬和学園大学	
	奥山　楓月	金沢学院大学	
1	高山　悠大	同志社大学	関西（6）
	東　美衣奈	同志社大学	
2	甲斐聡一郎	関西学院大学	
	中西　美月	関西学院大学	
3	天野　湧也	天理大学	
	小山　　優	天理大学	
4	貞方　良太	天理大学	
	荻野　祐菜	天理大学	
5	長谷川剛之	立命館大学	
	兒玉　亜依	立命館大学	
6	永井　武蔵	立命館大学	
	大辻野乃葉	立命館大学	

1	大野　陽輝	周南公立大学	中四国（4）
	塚谷　茜音	周南公立大学	
2	今川　拓海	島根大学	
	東保　芽依	島根大学	
3	甲斐　千優	松山大学	
	近藤　　優	広島大学	
4	沼野　和真	松山大学	
	大森　星空	松山大学	
1	阿久根直輝	九州国際大学	九州（4）
	石崎　明衣	九州国際大学	
2	東野　　勇	九州国際大学	
	八色　　舞	九州国際大学	
3	宗　　昂洋	九州国際大学	
	松本　柚希	九州国際大学	
4	坂村　一樹	西日本工業大学	
	山口　瑠奈	熊本学園大学	

過　去　の　戦　績

年	回	順位	名　前(男子)	大学名	名　前(女子)	大学名	開催地
2013	1	1	藤　巻　嵩　寛	日本体育大学	本　郷　由　貴	日本体育大学	神奈川
		2	塚　本　好　喜	日本体育大学	関　根　早　織	日本体育大学	
		3	樋　渡　元　志	金沢学院大学	樋　口　亜依美	関西学院大学	
			長谷川　達　也	日本体育大学	木　戸　よし美	日本体育大学	
2014	2	1	竹　内　義　憲	日本体育大学	木　戸　よし美	日本体育大学	神奈川
		2	松　村　健　太	日本体育大学	関　町　理紗子	日本体育大学	
		3	古　賀　　輝	早稲田大学	清　水　　恵	早稲田大学	
			三　浦　光　將	日本体育大学	浦　谷　夏　未	専　修　大　学	
2015	3	1	齋　藤　太　一	早稲田大学	島　田　きらら	早稲田大学	神奈川
		2	古　賀　　輝	早稲田大学	清　水　　恵	早稲田大学	
		3	富　岡　寿　将	早稲田大学	我　妻　美紗紀	早稲田大学	
			髙　野　将　斗	明　治　大　学	高　崎　真　実	明　治　大　学	
2016	4	1	五十嵐　　優	中　央　大　学	安　田　美　空	筑　波　大　学	東　京
		2	松　居　圭一郎	日本体育大学	中　村　恭　子	日本体育大学	
		3	玉　手　勝　輝	日本体育大学	財　津　　穂	日本体育大学	
			馬　場　湧　生	筑　波　大　学	加　藤　美　幸	筑　波　大　学	
2017	5	1	古　賀　　穂	早稲田大学	中　西　貴　映	早稲田大学	千　葉
		2	玉　手　勝　輝	日本体育大学	財　津　　穂	日本体育大学	
		3	西　川　裕次郎	法　政　大　学	宮　浦　玲　奈	法　政　大　学	
			仁　平　澄　也	明　治　大　学	上　杉　夏　美	明　治　大　学	
2018	6	1	緒　方　友　哉	日　本　大　学	安　田　美　空	筑　波　大　学	神奈川
		2	市　川　和　洋	日本体育大学	池　内　萌　絵	日本体育大学	
		3	小　倉　由　嵩	日　本　大　学	吾　妻　咲　弥	早稲田大学	
			仁　平　澄　也	明　治　大　学	上　杉　夏　美	明　治　大　学	
2019	7	1	緑　川　大　輝	早稲田大学	鈴　木　ゆうき	早稲田大学	千　葉
		2	村　本　竜　馬	日本体育大学	田　代　愛　紀	日本体育大学	
		3	小野寺　雅　之	早稲田大学	吾　妻　咲　弥	早稲田大学	
			酒　井　健　登	明　治　大　学	鈴　木　成　美	明　治　大　学	
2020	8	大　会　中　止					福　島
2021	9	1	緑　川　大　輝	早稲田大学	吉　田　瑠　実	早稲田大学	福　島
		2	山　田　尚　輝	日本体育大学	神　山　歩　美	日本体育大学	
		3	西　　大　輝	龍　谷　大　学	生　木　萌　果	龍　谷　大　学	
			筑　後　恵　太	明　治　大　学	蔦　谷　美　紅	青山学院大学	
2022	10	1					
		2					
		3					
2023	11	1					
		2					
		3					
2024	12	1					
		2					
		3					
2025	13	1					
		2					
		3					
2026	14	1					
		2					
		3					

主 管 学 連 紹 介

中 部 学 生 バ ド ミ ン ト ン 連 盟

〈役員〉

会　　長	佐藤　荘二		
副 会 長	藤巻　裕昌	名古屋女子大学	
常任役員	十枝内厚次	至 学 館 大 学	

〈学生連盟〉

委 員 長	小林　修誠	日本福祉大学	4　年
副委員長	坂井　颯真	名　城　大　学	3　年
会　　計	田口　瑠璃	愛知淑徳大学	2　年
学連委員	長谷川　誠	中　京　大　学	4　年
	中込　智也	名古屋大学	4　年
	山本　龍河	金　沢　大　学	4　年
	吉田　知宏	名古屋商科大学	4　年
	渡瀬　美月	日本福祉大学	3　年
	柴田　摩耶	至 学 館 大 学	3　年
	鬼塚新之介	愛　知　大　学	3　年
	林　秀斗	金　沢　大　学	3　年
	稲垣　圭亮	愛知学院大学	3　年
	奥村　大雅	愛知工業大学	2　年
	片山　温	名古屋市立大学	2　年
	安井　渉陽	中　京　大　学	2　年
	塩田　佳祐	金　沢　大　学	2　年

会　場　案　内　図



守山スポーツセンター

〒463-0801 愛知県名古屋市守山区竜泉寺２丁目１１２番地

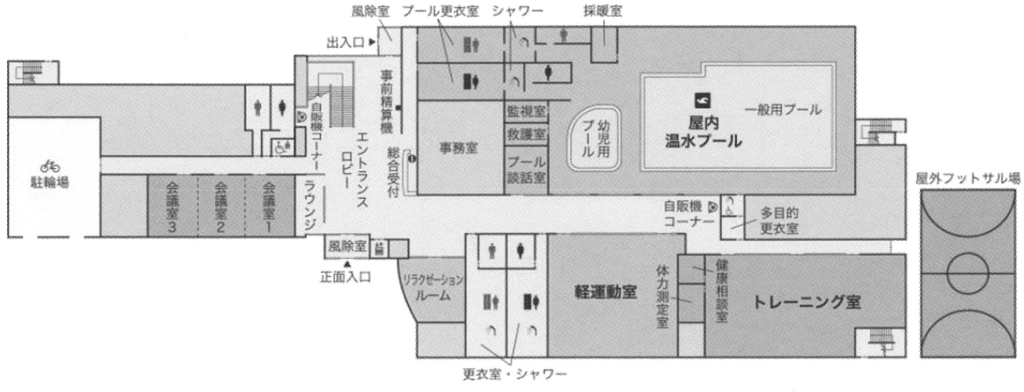
TEL：052-792-7066

- ゆとりーとライン「小幡緑地」から徒歩１分
- 名古屋市営バス　守山 11(新守山駅-川村-緑ヶ丘住宅)
  「小幡緑地」から徒歩１分
- 名鉄瀬戸線　「喜多山駅」から徒歩 19 分

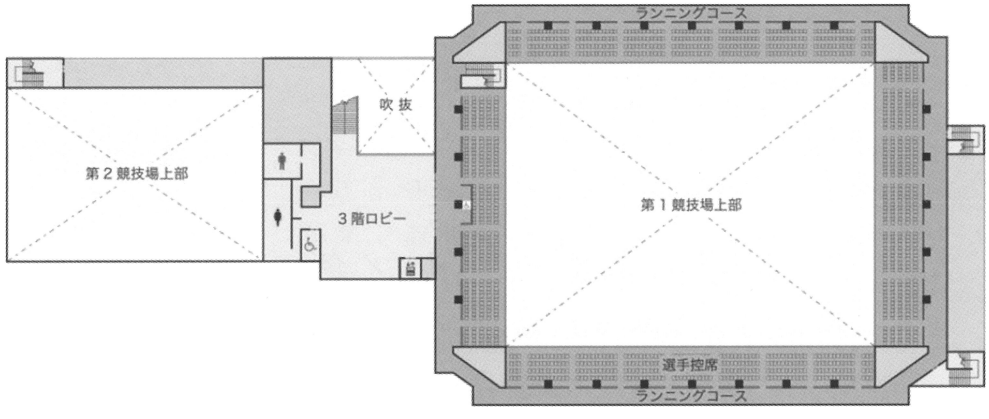
※車でお越しの方は小幡緑地公園駐車場には駐車しないでください。
近隣道路への駐車は大変危険ですのでおやめください。

体育館見取り図

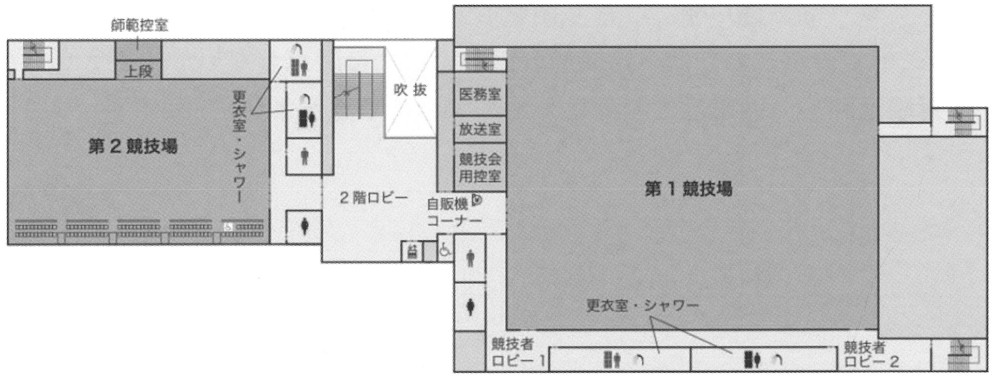
1F



2F



3F



祝

第 10 回全日本学生ミックスバドミントン選手権大会

愛知県バドミントン協会

会　　長	末岡　熙章		
副 会 長	上原 信彦	清水 善勝	山本 卓男
	堀尾 恵美子	山田 順一郎	
理 事 長	朝倉　康善		
副 理 事 長	伊藤 一夫	佐藤 荘二	井上 龍
	渡邉 伸也	浅井 淳	

祝

第 10 回全日本学生ミックスバドミントン選手権大会

愛知県実業団バドミントン連盟

会　　長	山本　卓男			
副 会 長	武田　正雄	朝倉　康善		
理 事 長	井上　　龍			
副 理 事 長	橋村　義春	峰　登志郎	小林　　誠	
	内田　公明	馬場　直樹		

祝

第 10 回全日本学生ミックスバドミントン選手権大会

愛知県社会人クラブバドミントン連盟

会　　長	清水　善勝	
副 会 長	山田順一郎	伊藤　一夫
理 事 長	山田　　薫	
副 理 事 長	武藤　要介	渡邉　伸也
	浅井　　淳	後藤　功生

祝

第 10 回全日本学生ミックスバドミントン選手権大会

愛知県レディースバドミントン連盟

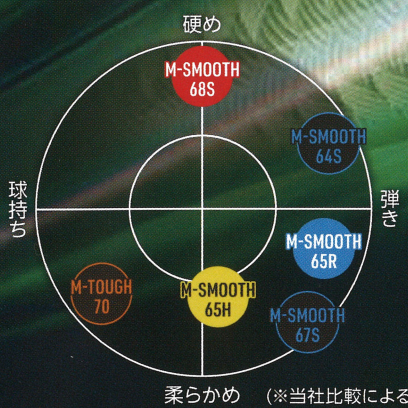
会　　長	堀尾　恵美子
副 会 長	伊藤　みゆき
理 事 長	柿澤　和美
副 理 事 長	加藤　菜央子

REACH BEYOND

MIZUNO

欲しい強さを張れ。

打った瞬間に、自信のあるスマッシュが
バージョンアップしたことがわかりました。※
（西本拳太・ジェイテクト）



（※当社比較による目安）

ストリングには球持ちからの反発を
求めていました。打って良し、守って
よしのストリングです！※
（奥原希望・太陽ホールディングス）

バドミントンストリング

M-SMOOTH

シリーズ

ストリングに最も求められる耐久性を考慮しつつ、弾きやパワー、コントロールをどのように付加するかが開発の大きな課題だった。ミズノはその相反する性能を両立するために、新たなコーティングを独自に開発した。
コントロール性を持たせた【65H】の他に、高い弾きを目指した【65R】と、高強力繊維ベクトランを複合しパワーを高めた【68S】を新たにラインナップ。
ライバルに勝つために、欲しい強さを張れ。

※個人の見解により、効果や感じ方は個人差があります。

NEW SPEED



NEW M-SMOOTH 65R
73JGA24001
¥1,430（本体価格¥1,300）
ゲージ：0.65mm

NEW POWER



西本拳太選手使用

NEW M-SMOOTH 68S
73JGA25001
¥1,430（本体価格¥1,300）
ゲージ：0.68mm

CONTROL



奥原希望選手使用

M-SMOOTH 65H
73JGA93001
¥1,430（本体価格¥1,300）
ゲージ：0.65mm

［日本製］

MIZUNO BADMINTON

詳細はこちら

mizuno.jp 0120-320-799

HOLD FOR FLIGHT



NEW ARCSABER 7

［アークセイバー7プロ］グレー／イエロー　¥26,440（税込）　日本製

www.yonex.co.jp　YONEXJPN　yonex_jp　yonex_jp　YONEX JAPAN

YONEX

far beyond ordinary